



# 月ヶ瀬公民館だより

公益財団法人奈良市生涯学習財団  
月ヶ瀬公民館  
奈良市月ヶ瀬尾山 2815 番地  
TEL&FAX 0743-92-0346  
発行人 館長 藤田美佳

## 寒中お見舞い申し上げます

令和最初のお正月を迎えるました。みなさまにおかれましては、どのような新年でしたでしょうか。わたしは昨年のこの時期に月ヶ瀬に引っ越し、初めて月ヶ瀬で年末年始を過ごしました。穏やかな初春の陽ざしと緑が美しい茶畠を眺めながら、地域のつながりとぬくもりを感じられた初詣など、ゆたかなひとときでした。また小正月の行事とんどでは、各地区の風習の違いも興味深く拝見し、多様であることの豊かさを実感しました。美味しくお餅をご馳走になったので、健康な一年を過ごせるだろうと思います。

今年は 2020 年。国連は、2015 年に世界の国や人々が取り組むべき共通の課題として SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) : 1) 貧困をなくそう、2) 飢餓をゼロに、3) すべての人に健康と福祉を、4) 質の高い教育をみんなに、5) ジェンダー平等を実現しよう、6) 安全な水とトイレを世界中に、7) エネルギーをみんなに そしてクリーンに、8) 働きがいも経済成長も、9) 産業と技術革新の基盤をつくろう、10) 人や国の不平等をなくそう、11) 住み続けられるまちづくりを、12) つくる責任使う責任、13) 気候変動に具体的な対策を、14) 海の豊かさを守ろう、15) 陸の豊かさも守ろう、16) 平和と公正をすべての人に、17) パートナーシップで目標を達成しようという 17 の目標と 169 のターゲットを設定し、2030 年までに達成することを採択しています。期限まで 10 年を切りました。これらの目標が達成され、ひとりひとりが尊重されて豊かに暮らせる時代であるよう、令和最初の新年を迎えながら考えました。

Kominkan (公民館) として世界の中でも注目されている施設の運営を担う者として、地域（ローカル）の課題と世界（グローバル）な課題との連続性を意識しつつ、みなさまと共に取り組んでいきたいと感じます。

本年もどうぞよろしくお願いします。



## 1月、2月 今後の講座・行事予定

1月 25 日（土）午前 9 時 30 分～11 時 【女性学級】運動でアンチエイジング～筋トレのススメ

登録者以外の方も体験参加可能です。

1月 25 日（土）午前 11 時～11 時 30 分 避難訓練

1月 30 日（木）午後 7 時 30 分～9 時 【月ヶ瀬茶論（サロン）】

現代社会や地域における様々な話題や課題について、語り合い・聴き合い、未来を展望しませんか？

2月 21 日（金）プチ田舎暮らし「シイタケの菌植え体験」2月 7 日〆切

2月 26 日（水）月ヶ瀬農婦の梅案内 2月 15 日〆切

## 東部公民館まつり開催予告 令和2年3月28日（土）月ヶ瀬公民館 10:00～15:30

田原・柳生・興東・月ヶ瀬・都祁公民館共催事業

記念公演 12:40～13:20 田原出身の尺八演奏家松本太郎さんと仲間によるジャズの演奏

学習発表（舞台）13:20～15:20 踊り、狂言、コーラス、大正琴、ダンス、和太鼓

バザー 11:00～なくなり次第終了 うどん、たい焼き、たこやき、パンなど

作品展示 3月 25 日～3月 28 日まで開催 絵手紙、クラフト、写真、書道、水彩画、つまみ絵、俳句、短歌



## こんな講座がありました

### おばあちゃんの手作り味噌 1月9日

還奈月のみなさんを講師に、月ヶ瀬のお米、大豆を使った味噌作りに取り組みました。丹精込めた月ヶ瀬の農産品を美味しい味わっていただく機会になりました。12名の参加でした。



### 女性学級 1月11日郷土料理を楽しむ新年会

館長藤田の出身地である秋田の郷土料理「きりたんぽ」を食べてみたいとの要望があり、小職が講師を務めました。美味しく、楽しいひとときでした。

きりたんぽにはセリが欠かせないのですが、月ヶ瀬のセリのおかげで、美味しくできました！



**【移動図書館】1月24日は回収のみ。2月はおやすみ。3月は26日(金)です。**

### ロビー写真展

2月に入ると観梅客の方が月ヶ瀬に多くおいでになりますので、ロビーで写真展を開催します。

月ヶ瀬を愛し、地区内で撮影されている写真愛好家の方々や、月ヶ瀬写真部の方々にご協力いただきます。

先月の公民館だよりで紹介した俳句は、十一月の俳句会の句でした。大変失礼いたしました。

今植えし外来の花冬黄蝶  
階段に並ぶ商家の陶たぬき  
卒論を終えて待ちたる冬の旅  
短日や大空を掃く竹百幹  
恒例の歴史ウォーク氷雨くる  
無い無いバー太陽あやす冬の雲  
障子貼る爺の仕事の手の確かに  
呼び声の涸れて手まねき飾壳  
手のひらに母の温もり寒たまご  
仁王門透かす借景冬木立  
風向きは四十五度の枯薄  
不渝の編目も愛想冬帽子  
独楽の芯父少年をとりもどす  
三歳の自我を通して着ぶくれず  
お前も独りか朝を啄む寒すずめ  
夜の客お伽噺の狐めく

旅人	すま	ますみ	雍子	和代	かつ野	ふみ子	節子	利明	月城	新哉	由姫子	卓孝雄	昭子
----	----	-----	----	----	-----	-----	----	----	----	----	-----	-----	----

月ヶ瀬俳句会【十二月】